



キラリ
コミュニケーションを大切に！早く一人前に

高校生の時、道路の舗装をしている工事現場の人がカッコ良いなと思ったのがきっかけで、この仕事を選んだという星川さん。憧れの仕事に就けてうれしいと笑顔で話します。

現在、会社全体の業務を覚えるために、工事長と色々な現場に足を運んで仕事を覚えている星川さん。「先輩の皆さんはとても優しく教えてくれます。舗装は通行する人の安全・安心のためにとても重要です。たくさんの専門用語

憧れの仕事を頑張る

を覚えなくてはならないのが大変ですがとてもやりがいがあります。一人ではできない仕事なので、先輩とのコミュニケーションを大切にしながら早く一人前になりたいです」と意気込みます。

「親元から通勤しているので初給料は、半分は家に、あとは将来何かしたいことができた時のために貯金しようと思っています。遠い将来のことはまだイメージできていませんが、今の仕事を継続して頑張ることが目標です」と話してくれました。

栗山町で生まれて小・中・高と栗山で過ごしてきた星川さん。今後も栗山町でキラキラと輝いてくれることでしょう。



この春から栗山町内で社会人デビューした皆さん。不安と期待が入り混じったスタートを切ったことでしょう。今回は、栗山町出身の3人の皆さんに、それぞれの職場にお邪魔し、仕事に対する思いや、今後の目標などの意気込みを聞きました。

がんばれ！

キラリ輝く **新社会人** new employee

～「くりやま」で働く若者の思い～



キラリ
仕事を覚えて早く親孝行したい

配属は預金係。「細かい計算もたくさんありますし、何よりお金を扱う窓口業務なので、緊張してしまいます」と杉村さん。高校の企業訪問で、空知商工信用組合を見学したとき、職場の雰囲気や、社員さんの人柄がとても良くて、金融の世界に飛び込みました。

高校生の時は、部活動に加え、飲食店のアルバイトも3年間続け、忙しい毎日を送ってきたそうです。「窓口ではマスクを付けて対応しているので、目だけでもお客様に表情が伝わるよう、わかりやすくはつきり

生まれ育ったまちに恩返しを



ほし ば ゆずき
干場 柚希さん
栗山町役場

キラリ
笑顔で挨拶を心がける

生まれ育った栗山町に恩返しをしたいという思いで、町職員を目指していた干場さん。高校生の時のインターシップでは、役場の仕事を体験し、ますます役場で働きたいと思ったそうです。

配属されたのは、住民票や戸籍の発行など、来庁者が一番多く、役場庁舎の顔となる部署です。

「まだわからないことばかりなので上司に聞いて間違いないようにしています。来庁された方に明るく挨拶することを一番に心がけています。高校生の時は、3年間アルバイトをしていましたが、

自立して頼られる人になりたい

と話そうに努めています」と話してくれました。

「4人姉弟の長女として育ち、しっかり者だと思われがちですが、どちらかというと面倒くさがりで、つい人に頼ってしまいます。早く仕事ができるようになって、親孝行をしたいです」とはにかむ笑顔は、新社会人らしく輝いていました。

もうすぐ車の免許を取得するので、妹たちの送迎もすることになりそうと話す杉村さん。社会に出て、一層頼られるお姉ちゃんとなることでしょう。



すぎむら せいり
杉村 星空さん
空知商工信用組合栗山支店



今度は新社会人として、早く仕事を覚えて人の役に立ちたいです」と初々しく話します。

また、小学生の頃から今も続けている手話は、全国手話検定2級を取得するほどの実力で、今では、くりやま手話の会の初心者指導を任せられているそうです。手話の会での経験は、今後の仕事にも活かせることでしょう。

「今は、親元から通勤していますが、お金を貯めて車を買って、ひとり暮らしをするのが夢」と語る干場さんは、元野球日本代表監督の栗山英樹さんが住む栗山町が大好きだそうです。